

SSKO 2017. 12. 25
No. 129

町田ヒューマンネットワークゲームス

〒194-0013

東京都町田市原町田2-22-26

プリモ・レガーロ町田1F

TEL 042-724-8599 FAX 042-724-7996

URL <http://cil-mhn-enjoy.life.coocan.jp/>

E-MAIL mhn89@nifty.com

バババババ ババウバウ
!!

あけてまして おめでとう

ことし ぶ ほうふ
今年のバウ負(=抱負)は、
ワンダフルな オンリーワン

と とり あと にご
飛ぶ西、後を濁さず
わだしと
あ、私 飛べないんだった。
と とり あと にご
飛べない西も、後を濁さず



目次

ねん やくいんあいさつ	2
2018年もよろしく(役員挨拶)	
だいせいきょう こんどう こうえんかい めい さんか	4
大盛況の近藤さん講演会、70名が参加	
はつ こころ にゆうもんこうざ かいさい	6
初の試み!ピアカン入門講座を開催しました	
しゅうちゅうこうざ あんない	9
ピアカン集中講座のご案内	
だいほしゅう	13
ヘルパー大募集	
しょう しやふくし	14
障がい者福祉クイズ	
じゅうどほうもんかいご かん こうしょう きんきゅうかいさい	15
重度訪問介護に関する交渉が緊急開催	
かいせい む つど	16
バリアフリー法改正に向けた集い	
こっかくていげん かんぜんじつげん もと	17
「骨格提言」の完全実現を求める	
だい	17
10.27大フォーラム	
ねん しゅってん	18
2017年まちカフェ出展	
たい	19
でかけ隊	
じむきょく うごき	20
事務局の動き	
かいいん みなさま など	22
会員の皆様へ・イベントお知らせ等	

ねん やくいんあいさつ 2018年もよろしく (役員挨拶) 桜 桜

りじちょう つつみ あい こ
理事長 堤 愛 子

あ
明けましておめでとうございます。

ことし ねん かいごほけんせいど かいいてい じ き ぜんごう しょうかい しょう
今年は、3年ごとの介護保険制度の改定の時期になっています。前号でもご紹介しましたが、障が
ふくし ねんいじょう う ていしょとく ひと じ こ ふたんぶん しょうがい せいど はら もど
い福祉サービスを5年以上受けている低所得の人には、自己負担分を障害の制度で払い戻すとか、
じゅうどほうもんかいご しかく かいごほけん はい きょうせいがた しんせつ しょうがいしゃ
重度訪問介護の資格でも介護保険のヘルパーに入れる「共生型サービス」の新設など、「障害者の
65歳問題」を意識した改定がいくつかおこなわれようとしています。国は、障がい者福祉サービス
かいごほけん せいどてき とうごう なかみ とうごう はか い と かん
と介護保険の制度的な統合をあきらめ、中身の統合を図ろうとしている意図も感じられます。そのこと
わか しょう しゃ えいきょう およ ちゅうもく おも
が、若い障がい者にどのような影響を及ぼすのか、しっかり注目していきたいと思います。

ほんねん ねが
本年も、どうぞ、よろしくお願いします。

ふくりじちょう しょうちょう さいとう いさお
副理事長 (マイライフ所長) 齊藤 功

しんねん
新年あけましておめでとうございます。

さくねんちゅう せ わ ことし なおいつそう ひいきたまわ ねが
昨年中は、いろいろお世話になりました。今年も尚一層ご最良賜りますようよろしくお願いいたします
ことし じりつせいかつ かか じりつせいかつ なに かんが
ます。今年は、あえて「エンジョイ！自立生活」を掲げ、エンジョイ自立生活とは何かを考えていき
おも なか さいもんだい たにんごと め まえ もんだい と く
たいと思います。その中で、65歳問題も他人事ではなく目の前の問題として取り組むべきひとつだと
おも
思います。

かいかく かくめい ひび ことば ことし ねが
‘改革ではなく革命’とても響いた言葉です。では、今年もよろしくお願いいたします。

じ ぬ きょくちょう まつばら のぶゆき
事務局 長 松原 信幸

へいせい ねん むか ねん かげつ つぎ げんごう あたら じだい うつ か い
平成30年を迎え、あと1年3ヶ月ほどで次の元号になります。新しい時代へと移り変わって行く
まちだ あたら じだい たいおう なが なが ぎろん かさ さまざま
わけですが、町田ヒューマンネットワークも新しい時代に対応するべく、長い長い議論を重ね、様々
こと と く ちゅう げんしよくいん そしき きず そだ ひと おも ひと ひと
な事に取り組んでいます。現職員としては、この組織を築き、育ててくれた人たちの思いや、人と人
たいせつ あたら じだい じゅうなん たいおう おも
とのつながりを大切に、新しい時代へと柔軟に対応していきたいと思っています。

ことし み ひ し ささ みなさま かんしゃ つ すす い
今年もさらに身を引き締め、支えてくれる皆様に感謝しつつ、突き進んでいきますので、よろし
ねが いた
くお願い致します。

キャプチャー おおい あつし 大井 篤史

あけましておめでとうございます。

さくねん たいへん せ わ
昨年大変お世話になりました。

さて、ここ数年はヘルパーさんの募集をかけても応募が少ない状況が続いております。これは当団体に限った問題ではありません。2019年のお話ではありますが、国が「介護離職ゼロ」を目指し、勤続10年以上となる介護福祉士の給与に8万円アップするということが閣議決定されました。すごく画期的な話ではありますが、これに関しても色んな問題が生じてくると思います。

この業界のマイナスイメージ(きつくて低賃金、高ストレスという印象)を少しでも払拭し、利用しやすく働きやすい事業所を目指し、取り組んで参りたいと存じます。

らいねん か ひ た ほど ねが もう あ みなさま けんしょう いの もう あ
来年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

コーディネーター かさい ただよし 笠井 幸祥

あけましておめでとうございます。毎日ドタバタと仕事をこなし、ドタバタと日常生活をおくり、またドタバタと仕事をする…。昨年はそんな一年でした。

こんな振り返りでは嫌だなと思いながら原稿を書いているわけですが、ふと今年は「身の回りの変化を受け入れる事」にいろいろと考えを巡らしてきたな一と思いつきました。気が付けば事務所で4番目に古い人間になってしまい、一緒に働く仲間たちは僕には想像もできないような新たな感覚を持った人も増えています。古くても大事なものは大切に守る！新たなものは勇気をもって受け入れる！そんな気持ちで新年を迎えたいと思います。

い に まえ か おも
そう言えば似たようなことを前にもニュースに書いたな一と思いつつ…。

福祉機器のトータルプランナー

PAMUK
パムック

〒133-0061

東京都江戸川区篠崎町7-23-5

TEL:03-5666-4801

EMAL:PAMUK@PAMUK.CO.JP



だいせいきょう こんどう こうえんかい めい さんか
❖ 大盛況の近藤さん講演会、70名が参加 ❖



がっ にち おこな こんどう ひでお
11月30日に行われた近藤秀夫さん
もと まちだし ふくしか
(元・町田市 障がい福祉課ケースワ
まちだひゅーまんねつとわーくそうせつ こう
カー、M H N 創設メンバー) 講
えんかい ほうこく
演会のご報告です。

つめ あめ ふ なか さんかしや
冷たい雨の降りしきる中、参加者、スタ
あ やく めい さんか いただ
ッフ合わせて約70名の参加を 頂きまし
こんどう こうち とお とうだん
た。近藤さんも高知と遠くからのご登壇で
さんかしや とお ながさき しゅつせき
したが、参加者も遠くは長崎からご出席
なつ かお おお
いただきました。懐かしいお顔も多く、ま
どうそうかい
さに「同窓会」のノリでした。

まちだし しょうがいしゃけいかく いのち か ち
町田市の「障害者計画」に「生命の価値
ゆうれつ もんごん の
に優劣はない」という文言を載せたこと
ことば げんざい ひ つ
(その言葉は現在も引き継がれています)、

ことば げんてん ひとり じゅうしょうしんしんしょうがい じよせい せんざい かのじよ いま まちだ
その言葉の原点となったのは、一人の重症心身障害の女性の存在だったこと、彼女が今も町田で、
ちから か ひとりぐ つづ こんどう みなもと
ヘルパーさんたちの力を借りながら1人暮らしを続けていることが近藤さんのパワーの源 になって
まじ はな
いることなどを、ユーモアを交えながらお話ししてくれました。

さわかい にん かたがた のこ こうえんかい かんそう こんどう こうゆう おも で はな
茶話会にも20人くらいの方々が残って、講演会の感想や、近藤さんとの交友の思い出などをお話し
ほんとう なご あたた あつ こんどう ひぐち とお
いただきました。本当に和やかで、暖かな集まりでした。近藤さん、樋口さん、遠くからありがとうござ
さんか かたがた ほんとう つつみ
いしました。そしてご参加くださった方々、本当にありがとうございました。(堤)

かんそう ばっすい
＜アンケート感想 抜粋＞

- ◇ とうじしゃ ほう よ なか か かた はなし き よ
当事者の方が、世の中を変えていった。そういう方のお話を聞くことができて、とても良かった。
いろいろ かた はなし き よ
また、色々な方のお話を聞くことができて良かった。
- ◇ げんき やす また あ わたし げんき す
元気と安らぎ、いただきました。又、お会いしたいです。それまで、私も、元気で過ごします。
こんどう まちだ い いま まちだ き くだ
近藤さん、かつて町田に居てくださって、今、町田に来て下さってありがとうございます。
- ◇ しょうがいしゃ れきし し たくさん よ
障害者の歴史について、知らなかったことを沢山知ることができ良かった。
- ◇ がっこう じゅぎょう き はなし き べんきょう
学校の授業では、聞けない話を聞けて勉強になった。
- ◇ し ほんとう たいせつ おも しゃかい ひと で き き
知ってもらふことは、本当に大切だと思います。社会の人たちが出来ないことと決めつけているのも、
そうぞうりよく じぶん まわ ひと まわ み
想像力がないのと、自分の周りにそういう人がいないからで、周りに見てもらふことは、
う い おも
受け入れてもらいことにつながると思いました。
- ◇ しょうがいしゃ まち せいど おこな ほんにん はなし き きちよう
障害者のための町づくりや制度づくりを行っていた本人の話 を聞けたので、とても貴重な

たいけん で き かん
体験が出来たと感じた。

◇ (前略) 無駄に生きている人はいないと思います。互いに相手を認め、支え合えることで優しさの和が広がります。障害のあるなしにかかわらずです!! もっともっと長生きして、地域の人々の意識を変えていってください。

◇ (前略) 一人ひとりの障害者は、例えば、「歩ける」としても「しゃべれる」としても、その障害の部分に対して、「いじめ」や「無理解」を受けながらも「よく生きよう」としています。近藤さんの意志を繋ぎ、マンパワーを育て、障害者の「豊かに生きる」ことへの支援の実践を増やしていただくことを切に願っています。

◇ 命の価値に優劣はない! この言葉は、私たち皆の生き方の原点である。

◇ (内容抜粋) 2005年頃町田ヒューマン(網倉ビル)で近藤さんの講演を聴いて感動しましたが、間もなく四国の方へ行かれてしまいました。あれから 10余年、今日の講演会に期待をしてヘルパーの仕事が終わって駆け付けました。Sさん(近藤さんの活動の原点となった重心の女性)の話は初めてでしたが、長年の障害者運動をされて来られたことや、今でも、現役で活動されていることに大変元気をいただきました。ヘルパー稼業も楽しいものです。近藤さんのストーリー(歴史)もとても楽しく聞き、障害者も健常者も区別なく、今日は、久しぶりにウキウキと元気をいただいて帰れそうです。



こんどう まちだ
近藤さんが町田に
こ 来られるという事で、
おおいそ こと
大急ぎのイベントになり
ました。お話の内容を、い
はなし ないよう
つか記録にまとめた(い
きろく
っ?) と思っています。
おも
多くの方が集まってく
ださって、担当者として
たんとうしゃ
感謝です。(李)
かんしや い



はつ ころろ にゅうもんこうざ かいさい 初^{はつ}の試^{ころろ}み！ピアカン入門講座を開催しました

わたし じりつせいかつ だいじ
私たち、自立生活センターにとって大事にしているピアカウンセリング。毎年、春に集中講座を
とま かいさい ことし はじ ころろ やく きん
泊りがけで開催していたのですが、今年は、初めての試みとして、約1か月8月4日(金)～9月1
日(金)の全4回、通いの入門講座としてピアカウンセリングのさわりの講座を開催しました。短い
きかん じゅうせい
期間ではありましたが、受講生それぞれ、
ピアカンの「楽しさ」、「気持ちよさ」、
かん おも
を感じてくれたのかな？と思えるそんな
こうざ らいねん しゅうちゅうこうざ かいさい
講座でした。来年には、集中講座を開催
よてい さんかしや かんそう よ ぜ ひ
予定です、参加者の感想を読んで、是非
あなた たいけん
貴方も、ピアカウンセリング体験してみて
ください。(吉野)



はつ さんか いんしょう のこ 初^{はつ}の参^{さんか}加^{いんしょう}で印^{のこ}象^{のこ}に残^{のこ}ったこと

おつづみ か ほ
小堤 香穂

はつ さんか いんしょう のこ
初の参加で印象に残ったことは、2つあります。1つ目は、自分の障害について話したことです。理由は「勇気を持って頑張れた」からです。

いま しょうがい ひてい おお はな い とき ていこう
今まで障害のことで否定されることが多かったので、「話して」と言われた時はとても抵抗があり、
しょうじきや はな とき … おも ゆうき だ げんかい はな
正直嫌でした。話している時も(きついなあ…)と思いましたが、勇気を出してなんとか限界まで話す
ことができました。皆さん真剣に聞いてくれたので、勇気を出してよかったと思いました。

ふた め りゅう ころろ お つ かる さいしょ
2つ目は「アプリケーション」です。理由は「とても心が落ち着いて軽くなったから」です。最初
は(なんか恥ずかしいな)という思いと、私の性格から(見つけられるかな…)と心配になりました。で
すが言ってもらおうと今まで気づかなかった良いところを見つけられたり、自分では短所だと思っても、
とら かたしだい ちょうしょ かん ちょうしょ おも ひと い
捉え方次第で長所になるのだと感じました。そしてもともと長所だと思っていたところも人に言われ
たことで、より嬉しさが増して自分でも納得ができ、良さを認めることができました。

じぶん じぶん ほ しょうじき は むずか だいがくせいかつ がんば
また「自分で自分を褒める」のも正直恥ずかしかったし、難しかったです。ですが大学生活を頑張った
り、今は一人暮らしに向けてできることから少しずつ頑張っているの、「できると信じて夢をあきら
めない自分」を褒めることができました。

ふた じぶん む あ すこ じぶん す わたし わたし
この2つで自分と向き合ったことで、少しだけ自分を好きになれました。「私は私でいいんだ」と
おも あせ じぶん あゆ
思えたので、焦らず自分らしく歩んでいきたいです。

にゅうもんこうざ さんか ピアカウンセリング入門講座に参加して

.....**なう じゅんぺい**
奈良 淳平

8月4日から9月1日まで、ピアカウンセリング入門講座に参加させて頂いて、私自身ピアカウンセリング講座の経験が殆どなく、一日一日が発見の連続でした。

一日目は、セッションの説明をして頂いて、その中で印象に残ったのは、自分の問題にしないという事です。同じ境遇で共感しあう為、自分の問題として重ねやすいと思います。しかし、感情を開放する事が目的なので、クライアントが開放しやすい環境を作る事が難しいと思いますので、これから

も考えていきたいと思います。
二日目には、人間の本質と感情の開放のお話をして頂き、自分の中に腑に落ちる部分が沢山ありました。特に人間は、喜びに溢れる存在と言う所で、人生楽しまなきゃと思いました。感情の開放の部分では、赤ん坊に例えて説明して頂いたのですが、とても分かりやすかったです。

自分自身、自分の感情がどこにあるのか分かりにくい部分があったのですが、全て開放する事で、自分の中で感情を整理する事が出来、分かりやすくなりました。それに加え、ピアカンの中だけでスッキリして、切り替える事が難しいと思いつつ、それがあるから本当の意味で開放が出来ると感じ、ピアカンのルールの重要性を感じました。

三日目は、障害をもつと言う事というテーマでしたが、自分の障害と向き合う、良いきっかけとなりました。障害をもつ事で、否定される事は多くなりましたが、「なんで否定されるんだろう」と言う思いもありつつ、「まあ出来ないからな」と言う思いもあって今まで過ごして来たので、自信をもっていいんだなと思いました。これからは他人の良い所を見て、生活をして行きたいなと思いました。

四日目、アプリケーションとサポートグループの作り方とILPアプリケーションが一番印象に残りました。自分自身、人をしっかり客観的に見て褒める事が無かったので、新しい視点で皆さんを褒める事が出来、とても新鮮でした。

四日間を通して、本当にピアカンの基本をしっかり学ぶ事が出来ました。これからも、基本をやりつつ、ヒューマンネットワークの長期講座はじめ、様々な講座に参加して、自分なりに解釈できる様になって行けたらと思います。有難う御座いました。

じかん ふん
12時間45分

.....**なな**

まちだ 町田——がくせいじだい えいが み き まち
学生時代、映画を見に来た街。

げんざい せいび なか とうじ つづ しょうてん ないしん
現在はきれいに整備されてしまった中で、当時から続く商店に内心ホッとしたりして。

自分^{じぶん}もちょっとは変わったかな。障^かがい者^{しょうしや}になって、ピア・カウンセリング入^{にゅうもんこうざ}門講座^{さんか}に参加^{さんか}している。対人^{たいじん}トラブル^{さんざん}で散々な思^{おも}いをしてきたのに、人^{ひと}とのつな^たがりを断^きち切れなかった。やがて、そこ^{よろこ}に喜^みびを見^みいだせるようになり、このきもちを深^{ふか}めてみたくなった。

講義^{こうぎ}は、どんな思^{おも}いをしたとしても、最後^{さいご}までやり抜^ぬこうと決^きめていた。

初回^{しょかい}から笑^{わら}い声^{こえ}が走^{はし}った。和やか^{なご}な雰^{ふん}囲^{いき}気^{つつ}に包^{とちゅう}まれた。途中^{ちゅうちゅう}、セッショ^はンで吐^はきだすこと^はができなかつた。きもちを吐^はきだすこと^はを、相手^{あいて}にぶつ^{かんちが}けること^{えんりよ}と勘違^{えんりよ}いして、遠慮^{えんりよ}してしま^{えんりよ}ったのだ。それではセッショ^いンをやる意^い味^みがないじゃないか!? 更^{さら}に、いい子^こぶる悪^{わる}いクセ^でも出^でていたように思^{おも}う。惜^おしい事^{こと}をした。

モヤモヤは残^{のこ}るが、気^きづきもた^きくさんあ^{じゅうじつ}って充^{かい}実^{こんご}した4回^{かだい}ではあ^{こんご}ったので、今^{こんご}後^{かだい}の課^{こんご}題^{かだい}として生^いかせればよ^いし、としよう。講座^{こうざ}は無^ぶ事^{じしゅうりよう}終^{しゅうりよう}了^{りよう}した。ピア・カウ^{とびら}ンセ^あリングの扉^{とびら}を開^あけたばかり。

ここ^{はじ}からが始^{はじ}まりだ!!

最後^{さいご}に、この間^{かん}出^で逢^あった皆^{みな}さまに、星^{ほし}の数^{かず}ほ^{かんしや}どの感^{もう}謝^あを申^あし上^あげます。

ピアカン入^{にゅうもんこうざかんそう}門講座^{かんそう}感想^{かんそう}

..... いまい のりはる 今^{いま}井^{のりはる} 則^{いま}治^{のりはる}(のいさん)

2017年8月にピアカウ^{にゅうもんこうざ}ンセ^{さんか}リング入^{にゅうもんこうざ}門講座^{さんか}に参加^{さんか}しました。おととしの長^{ちようきこうざ}期^{わたし}講座^{わたし}が、私^{わたし}にとつて実^{じっしつ}質^{はじ}初^{はじ}めてのピアカ^{きかい}ンの機^き会^{かい}で、ま^わりさん^{なか}に輪^わの中^ひに引^ひっ張^だり出^だされ!? 小^{しょうがっこう}学^{ねん}校^{てんこう}2年^{とき}で転^{てん}校^{こう}した時^{とき}のこと^{こと}をチラッ^{はな}と話^{げんてん}した、あ^{あらた}れが原^{おも}点^{おも}だなと改^{あらた}めて思^{おも}います。

しゅんたさん のぶさん、ゆきさん、まきさん。ピアサポでお世^せ話^わにな^かっている一^{かずみ}三^{かずみ}さん、よしのさ^せんもお^せら^{かずみ}れて、密^{ひそ}か^{ふうふ}にご夫^お婦^おでロ^おールモ^おデルと思^{おも}っているリー^{ちゅう}ダー^{えどがわ}のま^{ちゅう}るち^{えどがわ}ゃんさん(注^{ちゅう}…江^{えどがわ}戸^{えどがわ}川^{えどがわ})、そこ^{えどがわ}に新^{あたら}しい仲^{なか}間^まも加^{くわ}わり、入^{にゅうもん}門^{もん}です^{もん}のでセ^{じかん}ッショ^{みじか}ンの時^{みじか}間^{みじか}はち^{みじか}ょつと短^{みじか}いですが、ゆ^{かんじよう}っく^だりと感^あ情^{きかい}を出^{じりつせいかつ}し合^{うえ}える、こ^ううい^うう機^き会^{かい}は自^き立^{じりつせいかつ}生^{うえ}活^{うえ}をしてい^うく上^うでも、そ^ののた^きめ^きの基^き盤^{ばん}作^{づく}りをし^{はた}たり働^{はた}きか^{うえ}けたりしてい^うく上^うでも、な^くてはな^さら^{さい}ないも^{つう}の^{かん}にな^{かん}っていると、と^とく^とに最^{さい}近^{きん}、痛^{つう}感^{かん}して^{かん}います。

引^ひ越^こして遠^{とお}く^{つか}な^{つか}ったことと、疲^{かさ}れや^あす^とく^とな^とったこと^とが重^あなり、ピアサポの後^{あと}ホ^とテ^とルに泊^とま^とったりで、な^まか^まな^まか町^{まち}田^だに行^{とき}けな^{いつ}く^{かい}な^{かい}って^{かい}いた^{かい}の^{かい}です^{かい}が、こ^のの時^のは一^い回^{かい}休^{かい}ん^{かい}でし^{かい}ま^{かい}い^{かい}ましたが、残^{のこ}りの回^{かい}はセ^{のこ}ッショ^{かい}ンで^{かい}きて、有^{ゆう}意^い義^ぎで^ぎした。

リー^{みな}ダー^あ、ス^あタ^あフ^あの皆^{みな}さま、新^あしい仲^{なか}間^まの、か^かほ^かさん じゅん^かぺ^かい^かさん かな^かさん、ど^どうもあ^ありが^あとうご^ござ^ごい^いまし^した。今^{こん}後^ごと^ともど^どうぞよ^よろし^しくお^お願^ねい^いた^いし^します。

ピア・カウンセリング集中講座のご案内

日常生活で、皆さんは自分の思っていることを外に出せているでしょうか。分かってもらえないからと自分の中に溜め込んでしまっている方や、自分の本当の気持ちを言えずに過ごしている方もいると思います。言えずにいることで自分の本当の姿を見失っていませんか。障害という同じ背景を持った仲間同士で話しを聞き合うことで、本当の自分を取り戻す事が出来ると思います。より多くの仲間と触れあい、話しをすることで、何かを感じるきっかけ作りにつなげていただければと思っています。

この度、町田ヒューマンネットワークでは、下記要領で『ピア・カウンセリング集中講座』を開催することとなりました。多くの方のご参加をお待ちしています。

記

*日 時 2018年 2月15日(木)～2月17日(土) 2泊3日

*会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

*宿 泊 同上

東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL:03-3469-2525 FAX:03-3469-2277

*定 員 8名(応募多数の場合は選考します)

*参加資格 自立生活を実践している障害者、あるいはめざしている障害者

*申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、FAXか郵送でお送りください。

***申込締切 1月 18日(木) 締切厳守**

*リーダー 松原信幸・吉野裕子・堀内万起子・谷川俊太郎・川上一三 ほか

*参加費 18,000円(参加費、宿泊費、交流会費、資料代など含む。食事代は、含まれません。) *介助者を同伴する方は別途負担となります。

*支払方法 参加が決定次第、こちらから連絡致しますので、その後にお振り込みください。

*主 催 特定非営利活動法人 自立生活センター町田ヒューマンネットワーク

*後 援 JIL(全国自立生活センター協議会)TIL(東京都自立生活センター協議会)

***お問い合わせ・申込先**

特定非営利活動法人

自立生活センター町田ヒューマンネットワーク(担当:吉野、川上)

〒194-0013 東京都町田市原町田 2-22-26 プリモ・レガーロ町田1F

TEL 042-724-8616 FAX 042-724-7996

E-mail mhn-machidaya@mbr.nifty.com

プログラム

日 時	内 容
2月15日 (木)	
13:00～13:30	*受付
13:30～14:00	開会オリエンテーション
14:00～14:30	①リレーションをつくる
14:30～14:45	休憩
14:45～16:15	②ピア・カウンセリングとは
16:15～16:30	休憩
16:30～18:00	③人間の本質・感情の解放 (1)
18:00～19:30	夕飯・休憩
19:30～20:30	④振り返り
2月16日 (金)	
7:30～ 8:45	朝食
9:00～ 9:30	*ニュー・アンド・グッズ
9:30～11:00	⑤人間の本質・感情の解放 (2)
11:00～11:15	休憩
11:15～12:45	⑥障害を持っていること
12:45～14:15	昼食
14:15～15:30	⑦サポートグループ/(私たちの権利)
15:30～15:45	休憩
15:45～17:30	⑧アプリシエーション
17:30～18:30	休憩
18:30～20:30	*夕食と交流会
2月17日 (土)	
7:30～8:45	朝食
9:00～ 9:30	*ニュー・アンド・グッズ&振り返り
9:30～10:30	⑨自立生活プログラム(ロールプレイ)
10:30～10:45	休憩
10:45～12:00	*感想会

*プログラムの内容は変更になることもあります。

ピア・カウンセリング集中講座申込書 (2018 年)

ふりがな

氏 名 _____ 生年月日 _____ 年齢 _____ 性別 男・女

住 所 〒 _____

TEL: 自宅 _____ 携帯 _____

メールアドレス _____

* 障害について

・ 障害名:

・ 車いす使用 (電動 手動) ・ クラッチ使用 ・ 歩行可

・ 言語障害 有 (トーキングエイド or 文字盤使用 不使用) 無

・ その他(気をつけてほしいこと)

* 講座期間中の介助について (要 否)

① 自分で連れてくる

(介助者分の宿泊費 2 泊分の実費をいただきます。)

ふ り が な

介助者氏名 _____ 年齢 _____ 性別 男・女

住 所 〒 _____

TEL _____

② 町田ヒューマンネットワークに依頼したい方はご相談ください (有料)

・ ②の方は、介助内容について具体的にお答えください。

(記入しきれない場合は、この用紙の裏面をご使用ください)

・ 介助内容 食事 トイレ 着脱衣 移動 入浴

・ 介助時間 1 日約 時間 (朝 昼 夜)

* 宿泊状況

・ 宿泊はベッドをご用意しています。宿泊において何かご希望があれば裏面にご記入ください。

* 裏面もご記入ください。

*以前、カウンセリングの講座を受けたことがありますか。

①ある→集中講座、いつ () ところで ()

いつ () ところで ()

長期講座、いつ () ところで ()

いつ () ところで ()

②ない

*ご自由にお書き下さい。

(具体的な介助依頼が上記に書ききれなかった場合も、こちらにどうぞ。)

11月28日、重度訪問介護に関する交渉が緊急開催

11月28日午前、全国自立生活センター協議会・全国脊髄

損傷者連合会など障害当事者団体と厚生労働省との間で、

緊急に重度訪問介護のに関する交渉が行われました。全国か

ら300人があつまり、熱気ムンムンの交渉でした。要望内容は

下記のとおりです。

利用者・事業者

共に重要なこと

ばかりです。

厚生労働省か

らは障害福祉課

長の内山氏が回

答。予算編成前と

はいえ、とても

消極的的回答が

ほとんどで、現

状を訴える声

が飛び交いました。

(李)



重度訪問介護に関する要望 (2017年11月28日)

要望1 重度の全身性障害者でも納税者になれるように、重度訪問介護をあらゆる場所(大学・職場・泊りがけ外出・運転中)でシームレスに利用できるようにしていただきたい。

(説明)現状は、重度訪問介護は24時間の介護制度で、家の中でも外出中でも制度を利用できるが、大学通学や職場内やヘルパー運転中は使えない運用になっている。宿泊を伴う外出も認めない自治体も何割がある。このため、重度の障害者は働きたくても働けず、毎日家にいるか、外出はできても趣味の外出しかできない。納税者になるためにはヘルパーを24時間使いながら大学等に行き、就職し、地方では通勤に障害者の車をヘルパー運転(障害者の車なら道路運送法は問題なし)で使えることが必須であるので、これを認めて頂きたい。(すでに支給決定されている重度訪問介護の時間数の範囲でこれを行えば追加予算も必要ない上に、税収が上がる)。具体的には、告示に記載されている外出介護の規制を削除して頂きたい。

報酬告示(平成18年厚生労働省告示第523号)別表第2の1の注1

重度訪問介護(居宅における入浴、排せつ又は食事の介護等及び外出(通勤、営業活動等の経済活動に係る外出、通年かつ長期にわたる外出及び社会通念上適当でない外出を除く。原則として1日の範囲内で勤務を終えるものに限る。2並びに第3及び第4において同じ。)時における移動中の介護を総合的に行うものをいう。以下同じ。)

また、ヘルパー運転中に重度訪問介護が使えない(告示や通知には書かれていないが禁止されている)ルールも、なくしていただきたい。(警察庁は運転中のヘルパーが車内の障害者からの介護依頼を聞いて安全な路肩に停車することは、安全運転上の問題なしとのこと)

要望2 重度訪問介護を提供してくれる事業所が見つからない問題を解決していただきたい

(説明)重度訪問介護は24時間などの長時間連続の介護を提供する制度であり、1時間あたりの単価は身体介護の半分以上のため、障害者が支給決定を受けても、サービス提供を行う事業所がなかなか見つからない問題がある。事業所にとっては、介護方法が難しい重度の障害者向けの制度のため、常勤ヘルパーでのサービス提供がふさわしいが、利用者が死亡したり、入院してしまったりすると、常勤ヘルパー4人分の仕事が無くなってしまいうため、経営リスクが高すぎて参入しにくい問題がある。特に過疎地が深刻である。また、東京などの都市部でも、人工呼吸器利用者などはサービスがなかなか受けられない問題が続いている。このため、単価を上げることや、利用者死亡等の場合の補填等の方策を設け、障害者が重度訪問サービスを必ず受けられる仕組みの構築をお願いしたい。

要望3 国庫負担基準額を大幅に引き上げ、また、国庫負担基準の廃止をしていただきたい

(説明)現行では、障害福祉サービスのうち訪問系サービスだけに国庫負担基準が存在し、市町村単位の合算で基準額を超えた給付費については、国と都道府県が費用を負担しない制度となっている。どんなに重度な障害者であっても必要なサービス量が支給決定されるように、国庫負担基準額を大幅に引き上げて頂きたい。また、次回法改正時に国庫負担基準を廃止していただきたい。

要望4 新ヘルパーが障害者の介護に入るとき2人体制の加算を十分に行って頂きたい

(説明)人工呼吸器利用者や強い言語障害・複雑で特殊な介護が必要な障害者など、数カ月渡ってヘルパー2人体制で新人ヘルパーを行わないと新人が1人で介護できるようにならない全身性障害者がいる。重度訪問介護は単価が低いため、制度の単価収入と教える側の先輩常勤ヘルパーの人件費(社保など含む支出)がほとんど同じである。このため新人ヘルパーを十分な期間2人体制で育成出来るように、2人体制の加算を十分な金額(新人ヘルパーでも最重度障害者に対応するには重度訪問介護には常勤雇用が必要で、求人して人材を確保するのに必要な人件費水準はかなり高い)で、必要な期間(必要な人には数ヶ月)行っていただきたい。

ほうかいせい お つど
バリアフリー法改正に向けた集い
とうきょう じだい ほうかいせい せかいきじゅん
東京2020オリパラ時代のバリアフリー法改正 世界基準のレガシーを！
ご ご こっかいぎいんさんか かいさい
11月28日午後、国会議員参加のシンポジウムが開催

バリアフリー法改正で改善してほしい『13課題』

DPI日本会議

バリアフリー整備が進まない「10課題」

① 地方のバリアフリー整備

バリアフリー法は、乗降客3,000人/日以上の駅が対象というように、都市部を想定した施策のため、地方のバリアフリー整備がほとんど進まない。

② 小規模店舗のバリアフリー化

1994年のハートビル法以来、床面積2,000㎡以上という基準が変わらず、小規模店舗のバリアフリー化が進まない。欧米では小規模店舗も車いすで入店可能。段差解消、固定椅子を設けないといった最低限のバリアフリー整備基準が必要。新規開設時であれば、バリアフリー化してもコストはほとんど増えない。事業者の負担を少なく整備する施策必要。

③ 避難所としての学校のバリアフリー化

阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震でも、避難所に車いすで入れなかった事例が多数あった。バリアフリー法では一般の学校はバリアフリー整備義務(基準適合義務)がない。防災の観点から一般学校を義務対象にすることが必要。

④ 駅ホームの安全性向上と単独乗降(ホームドア、段差・すき間解消)

ホームドアを設置し駅ホームの安全性向上が必要。同時に、車いすでの単独乗降が可能になるようにホームと車両との段差とすき間の解消が必要。大阪市営地下鉄は段差2cm、すき間3cmという目標を定めて整備推進。バリアフリー法では数値目標なし。

⑤ 車いす用席の予約システム

新幹線や特急の車いす用席を取るには特別なルートで、時間と手間が非常にかかる。どこでも、誰でも簡単に購入できるように、一般と同じ販売ルートにのせて簡素化が必要。

⑥ 空港アクセスバス・高速バスのバリアフリー化

2010年までバリアフリー法の適用除外認定車両となっていたため整備が遅れている。5万台走っているうち、リフト付き車両は3台のみ。特に地方では、空港から市内へのアクセスはバスとタクシーしかなく、バリアフリー化が必要。

⑦ 音響式信号機(視覚障害者誘導)

視覚障害者が安全に道路を横断するためには音響式信号機が不可欠だが、設置率は9.4%程度と非常に低い(約19,500基/約208,100基 2017年3月)。さらに、設置されていても夜間は音声を止めており、非常に危険。

⑧ ホテルのユニバーサルデザイン化

バリアフリールームの整備(総客室の2-3%程度)とともに、一般客室も段差を解消しユニバーサルデザイン化すれば、手動車いす程度は利用可能。高齢者にとっても有効。

⑨ 共同住宅のバリアフリー化

車いす等で利用できる民間の賃貸住宅が少ない。一定の規模以上(20戸以上等)の共同住宅には、段差解消、ドア幅80cm以上というバリアフリー整備基準が必要。

⑩ 当事者評価の仕組み

せっかく整備したのに障害者は利用しにくいバリアフリー整備がよくある。当事者評価の仕組みをつくり、整備に反映させることが必要(欧米ではすでにあり)。

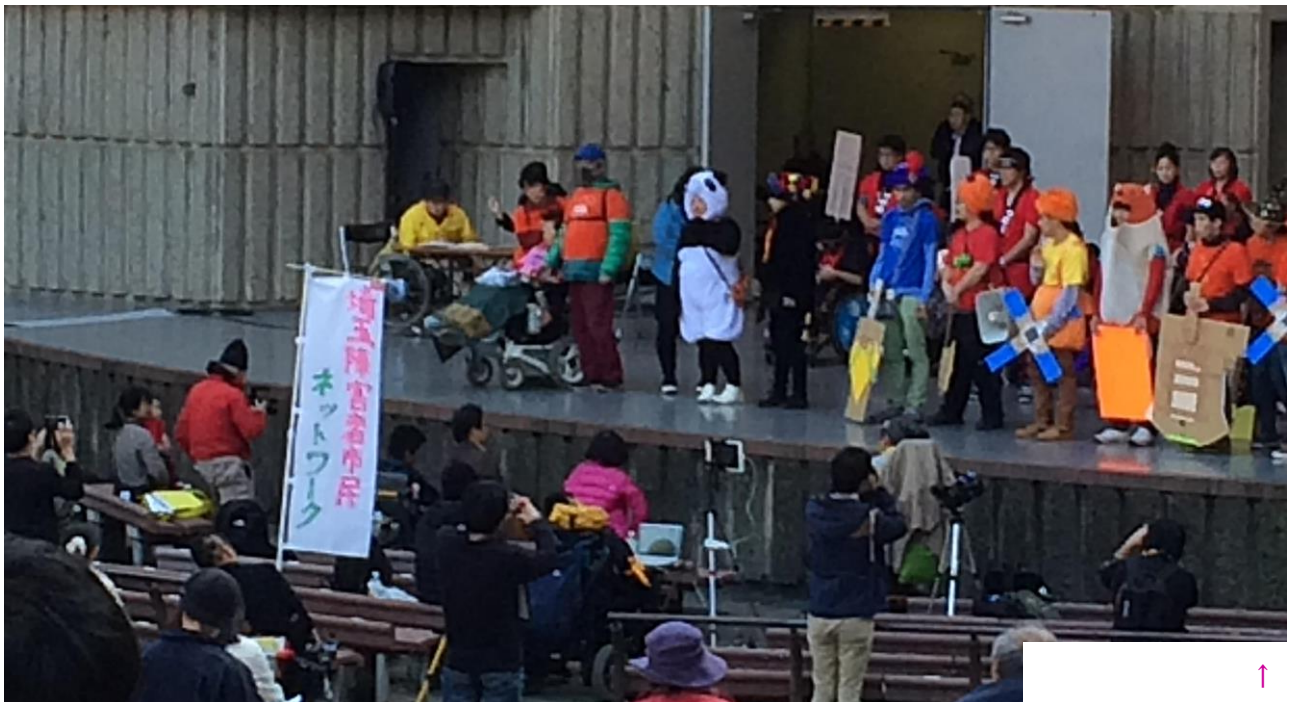
全国脊髄損傷者連合会とDPI日本会議の主催で、バリアフリー法改正の集いが衆議院議員会館で開かれた。全国から300人を超える参加があり、大盛況となった。政党シンポジウムでは、与野党全政党からの参加があり、この課題は党派を超えた問題だとの意見が与党サイドからも出ていた。主催者からは各地での地元議員への働きかけが呼びかけられていた。(李)

上に加えて さらに改善が必要な「3課題」

1. 規模に応じたバリアフリー化
2. 新幹線・特急車両のフリースペース
3. 在来線は一車両に1ヶ所のフリースペース



こっかくていげん かんぜんじつげん もと だい 「骨格提言」の完全実現を求める10.27大フォーラム

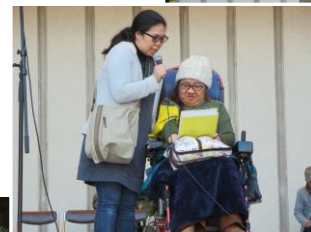


ねん がつ にち こっかくていげん かんぜんじつげん もと だい
2017年10月27日に、「骨格提言」の完全実現を求める10・27大フォーラムが
ひ び や が い お ん が く ど う か い さ い ぜんこく やく にん あつ つく い
日比谷野外音楽堂で開催されました。全国から約500人が集まり、「津久井や
まゆり園事件を風化させてはならない」「大規模施設や病院から地域に」など
えんじけん ふうか だいきぼしせつ びやういん ちいき
まゆり園事件を風化させてはならない」「大規模施設や病院から地域に」など
ちからづよ はつげん おお い
の力強い発言が多くありました。(李)

↑
さべつかいしょうほう
差別解消法ダンス
じゅんぴ おーけー
準備はOK!

とうじつ 《当日のメインスローガン》

- つく い えんじけん わす
・津久井やまゆり園事件を忘れない!
- ゆうせいし そうはんたい
・優生思想反対!
- なかま ころ ぎやくたい さべつ
・仲間を殺すな! 虐待するな! 差別するな!
- いりょう ふくし ちあん どうぐ
・医療・福祉は治安の道具じゃない!
- そ ち にゆういん きょうか
・措置入院の強化をやめろ!
- びやういんしせつ いえ ちいき だ
・病院施設は家じゃない! 地域に出せ!
- しょうがいしゃとして堂々と生き抜くぞ!
- きほんごうい まも
・基本合意を守れ!
- こっかくていげん じつげん
・骨格提言を実現しろ!
- わたし ぬ わたし き
・私たちが抜きに 私たちのことを決めるな!
- わたし まえ にんげん
・私たちはしょうがいしゃである前に人間だ!
- だい つづ
・大フォーラムを続けるぞ!
- わたし たたか
・私たちは闘うぞ!



[illegible]

A female mannequin is seated on a silver folding chair in a library. She is wearing a black long-sleeved sweatshirt with the words 'CONCRETE ALISTAR' and a graphic of a person. A yellow tag is pinned to her chest. She is also wearing pink slippers. Her hands are behind her head. The background shows library shelves with books and a red fire extinguisher.

でかけ隊^{たい}



10月28日(土)

中華街に行きました。でも雨が降ってきました。なので
横浜駅から地下鉄を使いました。小雨の降る中、中華街を
歩いていると客引きのお兄さんに止められて、そのお店に
入ることにしました。思った以上にその場所から移動しま
したが、普通のお店で安心しました。オーダー式のバイキ
ングでした。食後時間を少し作って自由時間としました。

集合時間に駅改札で、集合写真を撮り帰宅。(斉藤)

11月25日(土)

今回は池袋に行きました。電車の時間が長くて着いたのがお
昼過ぎだったので、池袋を満喫できたとは言えませんでした。
眺めの良いところで景色を見たり、おいしいお昼を食べて、買い
物もできたので、それぞれに楽しめたと思います。11月で年末が
近いせいか人が多い気がしました。水族館に行ってみました。
やはりここも混んでいて、入場にも時間がかかりそうだった
ので、入れませんでした。慣れないところで地図を見ながら歩くのが、思ったより大変なことに気付
いたので良かったです。(丸山)



健康保険を使った在宅訪問マッサージのごあんない

疾患を問わず手足など筋肉にマヒがある、関節がかたくて動かない・動きづらい方、
医師の同意により健康保険の適応となるマッサージ制度があります。
歩行が困難で、お一人で通院できない方が対象となります。

脳性マヒ 交通事故による頭部外傷 脊髄損傷 筋ジストロフィーなど その他詳細はご相談ください。

- 訪問にかかわる交通費(往療料)も含まれております。
- 医療助成のある方はご負担金なく施術を受けられます。

お問い合わせ・お申し込みは・・・

在宅訪問マッサージ・鍼灸整骨院

(株)スマイルサポート

成瀬本院(整骨院併設): 〒194-0011

TEL: 042-706-8251 (代表)

FAX: 042-706-9601

町田市成瀬が丘2-4-4

サンブリッジ成瀬が丘101



事務局の動き

2017年9月16日～2017年12月15日

【主催講座等】

- ・親サポートオンゴーイング月1回開催
- ・でかけ隊開催 毎月第4土曜日
- ・ほっとカフェM毎月第3土曜日(基本)開催
- ・重度訪問介護従業者養成研修【随時】
- ・ピアサポートグループ(ピア・カウンセリング受講修了者継続クラス)月1回
- ・ハンドブック委員会月1回開催
- ・TIL運営会議毎月1回開催(堤出席)

9月

- 19日(火) 第9回介助者勉強会「介助者座談会」於 事務所 川上・笠井・梶田・福田(担当)
- 20日(水)～21日(水) 東京都相談専門支援員現任研修演習 於 茗荷谷 齊藤(参加)
- 21日(木) 東京都相談専門支援員現任研修演習 於 茗荷谷 齊藤(参加)
- 27日(水) ILPリーダーズ 於 三鷹 川上(担当)
- 30日(土) コメント友の会学習会 於 コメント会館 堤(講師)
- 第5回まちだ未来の会学習会 於 ことばらんど 齊藤(シンポジスト)
- ピア・カウンセリング一日講座 於 八王子 吉野(参加)

10月

- 3日(火)～4日(水) 東京都相談専門支援員現任研修演習 於 八王子 堤(講師兼参加)
- 19日(木) 第10回介助者勉強会「自分の人権を確認しながら障害者差別解消法考える」
於 事務所 李(講師)・宇野(担当)
- 20日(金) 利用者交流会 於 事務所 川上・松原・丸山(担当)⇒中止
町田市障がい福祉施策推進協議会相談支援部会 於 市役所 堤(出席)
- 21日(土) 神経筋疾患ネットワーク 公開座談会 於 戸山サンライズ 川上(参加)
- 27日(金) 「骨格提言の完全実現を求める10・27大フォーラム」 於 日比谷野外音楽堂 李・吉野(担当)・松原・堀内・谷川他(参加)
- 第11回介助者勉強会「感染症対策」 於 パーソナルアシスタント町田事務所 玉澤(担当)
- 30日(月) TIL総会 於 立川 堤(出席)
TIL学習会「知的障害者の自立生活」
於 立川 堤・川上・田中優・梶田・福田・鈴木麻生子(参加)
- シグナル(ILPサポートクラス) 於 スカイツリー 谷川・齊藤(担当)

11月

- 9 日 (木) 町田市町田地域障がい者支援センター地域連携会議 於 コメット会館 堤 (出席)
- 12 日 (日) 第 12 回介助者勉強会「介助者の為の身体を痛めない移乗介助の仕方」 於 事務所
石塚・福田・宇野 (担当)
- 13 日 (月) 町田市障がい福祉施策推進協議会 於 市役所 堤 (出席)
- 14 日 (火) 東京都相談支援専門員初任者研修チーム会議 於 茗荷谷 堤 (出席)
- 21 日 (火) 年末調整説明会 於 健康福祉会館 流川・田中かつ子 (参加)
- 23 日 (木) ピア・カウンセリングセミナー 於 ことばらんど 松原・吉野・流川 (担当)
- 27 日 (月) I L P リーダーズ 於 府中 川上・谷川 (担当)
- 28 日 (火) 重度訪問介護集会 於 永田町 李 (参加)
バリアフリー法集会 於 永田町 李・川上 (参加)
介助者お疲れ様会 於 事務所 松原他 (担当)
- 29 日 (水) 第 57 回理事会 於 事務所
- 30 日 (木) 近藤秀夫さん講演会 於 ことばらんど 堤・李・吉野・流川他 (担当)

12月

- 2 日 (土) D P I 政策研修会 於 戸山サンライズ 吉野
社会福祉法人コメット理事会 於 コメット会館 堤 (出席)
- 3 日 (日) まちカフェ 於 市役所 李他 (担当)
- 11 日 (月) シグナル (I L P サポートクラス) 忘年会 於 町田カラオケ館 川上 (担当)
- 15 日 (金) I L P リーダーズ 於 八王子 川上・谷川 (担当)



かいいん みなさま 会員の皆様へ

ひごろ まちだ かつどう さんどう
日頃より、町田ヒューマンネットワークの活動にご賛同いただきありがとうございます。
らいねんど じむりょう ぞうだい けいげん か い ひ のうにゆう じ き ねんどはじめ
来年度より、事務量の増大を軽減するため、会費の納入の時期を年度初め（これまでは
にゆうかいつき のうにゆう おも
入会月ごとの納入）とさせていただきます。

それに伴い、以下の変更も合わせて行います。

- ① 年度途中の入会の場合、月割り（正会員250円、賛助会員300円）とします。
- ② すでに会員の皆様には、来年度のみ10月～3月入会の方については半額（正会員
えん さんじょかいえん えん
1500円、賛助会員1800円）とします。

しょうさい べつと てがみ し きょうりよく ねが
詳細は、別途お手紙にてお知らせいたします。ご協力よろしくお願いいたします。

こんご おお うご し 今後の大きな動き・イベントお知らせ

◎バリアフリー法改正の動き

ねん がつ ていびーあいにほんかいぎ さいどこつかいぎんかいかん しゅうかい よてい
2018年4月ごろ、D P I 日本会議などによって再度国会議員会館での集会がもたれる予定。

◎東京都で障害者差別禁止条例制定の動き 進行中

ほっとカフェM



かし
おいしいコーヒーとお菓子

まいつきだい とうりび まちだ
毎月第3土曜日 町田ヒューマン フリースペースにて
きもち
お気持ちのカンパをいただいています。

がつかいさい がつ にち ど じはん
1月開催 1月20日（土） 14時半より
がつかいさい がつ にち ど じはん
2月開催 2月17日（土） 14時半より
がつかいさい
3月開催 中止。 3月31日に花見予定。
がつかいさい がつ にち ど じはん
4月開催 4月21日（土） 14時半より

へんしゅうこうき 編集後記

○13・14ページは、実際は折り込みチラシにな
っています。ぜひ、日頃持ち歩くバッグに入れて
いただき、お知り合いにお渡しください。意外な
ひと かんしん うら ざつたん こ
人が関心ありかも。裏のクイズは雑談の小ネタ
にもなります（ちなみに正解は②・①・③・②）。
○前回のニュースで上の「会員の皆様へ」の記事を
入れるはずが、もれてしまい、年内にはニュース
はっそう とど おも
発送をと急ぎました。年末に届いたと思うのです
が、内容は新年号です。
あらた
改めてバババババ ババウバウ ございま
す。
へんしゅうたんとう い
（編集担当 李）

じりつせいかつ まちだ 自立生活センター 町田ヒューマンネットワーク

とうきょうと まちだしほらまちだ まちだ
〒194-0013 東京都町田市原町田2-22-26 プリモ・レガロ口町田1F
TEL 042-724-8599 FAX 042-724-7996

URL <http://cil-mhn-enjoy.life.coocan.jp/> E-MAIL mhn89@nifty.com

しょうがいしやせいかつしえん
障害者生活支援センターまちだや TEL 042-724-8616
ヘルパーステーション・マイライフ TEL 042-721-5044

（12月13日現在）

せいかいえん めい 正会員	306名
さんじょかいえん めい 賛助会員	14名
だんたいかいえん だんたい 団体会員	9団体

ねんかいひ せいかいえん えん さんじょかいえん えん かいひふりこみきき かにゆうしやめい とくていひ えいりかつどうほうじん まちだ
年会費 正会員3000円 賛助会員3600円 会費振込先/加入者名:特定非営利活動法人 町田ヒューマンネットワーク 郵便振替口座:00130-4-539920